



社会福祉法人つるかわ学園
 つるかわ学園を支える会
 ☎195-0051
 東京都町田市真光寺町
 186番地
 T E L (042)735-2220
 F A X (042)736-6374
 HP:tsurukawa-gakuen.com

冒険と勇氣、そして情熱

理事長 早川 明

新年明けましておめでと〜ござい
ます。

まずもって旧年中のお礼を申し上げるとともに、利用者の方保護者の方また関係者の方、そして職員及びご家族の感染防止への取り組みとご協力をいただき感染者発生を防げたことをご報告いたします。各地の福祉施設では感染防止に尽力していたにもかかわらず、二千件越えの施設で感染者が出ています。何処でいつ発生しても不思議でない状況のなか、本当に幸いと言っしかありません。これからも感染症対策の基本徹底、三密回避に努めて参ります。

新年にあたり振り返ってみますと新型コロナウイルス一色に途方もなく振り回された年でした。新型コロナウイルスが襲来第一波令和元年四月から始まり、第二波二年八月、第三波三年一月、第四波六月、第五波八

月と経験しました。政権は令和二年三月より全国一斉臨時休校要請、第一回緊急事態宣言四月、第二回緊急事態宣言三月一月、第三回緊急事態宣言四月、第四回緊急事態宣言七月と発出して、国民はこれらの対処に振り回されてきました。このような社会不安のなかで、少々の混乱を伴いつつ切り札のワクチン接種の開始や東京五輪の無観客開催、岸田政権誕生、結婚の儀式の執り行われぬ秋篠宮眞子様のご結婚など日本史に残る出来事に欠かない一年でありました。

国際社会では中国の台頭による米中対立の深刻化、バイデン大統領の誕生、アフガニスタンからのアメリカ軍の撤退とタリバン政権の復活。離陸するアメリカ軍飛行機に追いつける市民の姿は痛ましく胸も締め付けられました。「戦争の連鎖はさら

なる悲劇を生み出す」と冷静に為政者として考えず、即座に戦争という手段を選択した強国アメリカや参戦国の指導者をアフガニスタン市民は今どのような眼差しで見ているのでしょうか。

台風被害の少ない昨夏でしたが、小笠原諸島では相次ぐ火山活動が起き、なかでも福徳岡ノ場海底火山の噴火により、大量の軽石が沖繩、奄美に漂着し船の出航が妨げられ生活に大きな支障をきたしています。

漂流軽石は黒潮に乗って四国、伊豆諸島の沿岸に漂着し、被害も拡大しそうです。また、百年前にも沖繩には軽石が漂着したそうで、その前年に関東大震災が起きています。東日本大震災を機に日本列島は活動期に入ったと学者は述べているので、百年ぶりの出来事が次々と発生している日本列島が心配です。

長引くコロナ禍のなか、コロナ後を見据えて市民や企業は活動し始めています。この原稿を推敲中にエッと驚くことが二件ありました。一つ目は小田急電鉄の思い切った「子供料金は一律五十円」の発表です。人口減少、乗客減少、社会生活の変容を見て、子育てに優しい小田急線沿線生活の演出で事業の発展に打って出たのでしょうか。二つ目は百年以上続き日本を代表する複合巨大企業東芝の三事業分割計画の発表です。

様々な事業を抱える複合巨大企業は不調部門があっても、好調部門が補うことで全体としての収益安定化や持続的な成長になるというメリツトの歯車が狂いました。経営陣は「好調な分野が稼いだ利益を、不振分野が食いつぶしていく今の構造のままでは存続はできない」という苦渋の決断をしたのでしょうか。

名門東芝の名が消えていくのは寂しい限りです。東芝の解体は企業経営方針の象徴的転換です。実施事業の中身を見て適切な規模を追求しつつ、得意分野を磨かなければ生き残れない時代になったと考えます。

福祉も大正戦前の篤志家や慈善活動家等の時代、戦後の措置費制度の時代、平成令和の市場競争原理に基づく利用契約制度の時代へと移り変わってきています。民間企業の参入なども多く、慢性的人手不足や福祉制度の複雑さも重なり合い、厳しい競争を強いられる経営方針の再考をしなければならぬ社会福祉法人も出てくると予測できます。

廣本前理事長は百二十二号新年の挨拶で「どんな苦難に立ち向かおうと、冒険と勇氣、そして情熱を持って行動してほしい。足踏みし現状維持するならば、これはまさしく後退なのです」と述べています。

皆様、本年もよろしく、お願い申し上げます。

各事業所より

去年は「新型コロナ」に始まり、ようやく収まりかけてきた来たように思えるこの頃ですが、
まだまだ注意が必要な世の中です。

それぞれの事業所で、細心の注意を払いながら、利用者支援に取り組んでいます。
様々なご不便やご迷惑をおかけしていますが、引き続きご理解とご協力をお願いします。
皆様もご自愛ください。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

【町田市障がい者就労・ 生活支援センターりんく】 【支援センターソラール】

管理者 藤本 英理子

誰に対しても常に過不足のない
適切な支援をしていきたいです。

【理事長】

早川 明

新年への希望 夢 願い
今日やるべきことを持つことで
私たちは幸せに暮らせます
一緒に持ちましょう

【グループホーム ドリーム事業所】

管理者 外川 珠枝

新年あけましておめでとうございます。
健康に気がつけた一年に
したいと思います。

【地域生活援助センターフクシア・ 成瀬寮事業所】

管理者 大矢 浩之

3年を区切りとして、よく使われます
が、コロナウイルス蔓延から3年、
「不易流行」の気持ちで
進んでいきます。

【つるかわ学園】

施設長 月岡 亮

密にはなれませんが、心は密に寄り添
った支援をそして皆さんが「心豊かで
安心した暮らし」ができるようチーム
福祉で頑張ります。

【つるかわ学園 相談支援センター ころろ】

管理者 芹澤 政人

利用者の方の願いが実現できるよう
にチームアプローチを展開します。

【町田通勤寮】

管理者 三階 広明

「初心」「継続」「健康」を忘れずに
一年を過ごしたいと思います。
より良い支援を目指してチーム力の
充実に努めていきます。

グループホーム・ラピス
 主任 大滝 祐輔

二〇二二年十月一日より「グループホーム・ラピス」での新生活がスタートしました。

新しい生活の場として、数ヶ月に及んだ開設準備を経て、無事に開設できました事、利用者・職員一同、大変嬉しく思っております。エレベーター設置、車椅子に対応したバリアフリー設計等、高齢化を見据えた整備も行い、多様なニーズに対応可能なグループホームとなりました。

引越時期は利用者の皆さんも、協力してくださり、お陰様でプラン通りに移動する事ができました。

また、開設に伴い、つるかわ学園より新規利用者を一名迎え入れ

定員七名となりました。

それぞれの居室が分かれていた旧グループホーム・ドリームのアパートタイプとは違い、一つ屋根の下のラピスでの新生活は利用者の皆さんにとって、とても新鮮に映っているようです。緊張感が伺える方、嬉しさに溢れている方など、それぞれの様子がありますが入浴の順番を話し合ったり、洗濯を譲りあったり等、今までにはなかった光景も目にする事ができました。

広々としたリビングでは、大きなテレビをみながら談笑する事もあり、憩いの場としても活用されています。

今後も地域社会との交流や、温かい家庭的な環境を整え、笑顔溢れる皆さんの「家」として、「その人らしい」生活が送れる様サポートして行ければと思います。



外観



夜景



玄関



エレベーター



娯楽室(2階)



リビング(1階)



キッチン



洗面所

つるかわ学園

ダイエー様 車いす贈呈式

支援スタッフ 田村知輝

二十年以上にわたり、活動していただいているダイエーユニオンさんとのイベントにつきましては、コロナ禍により今年もやむを得ず中止となりました。しかしながら今年度は「車椅子」を寄贈していただき、感染症対策の上、贈呈式を行うことが出来ました。

また、今年もゼリーやコーヒーもいただき、利用者の皆さんに提供した際にはとても美味しそうに食べられ、とても穏やかな時間を過ごすことが出来ました。

このような繋がりを大切にさせていただき、来年度こそは、ダイエーユニオンさんと一緒に時間を過ごすことを利用者・職員願います。

今回は、このような企画・提案をして頂き、ありがとうございました。またお会いできる日を楽しみにしています。



吉邨泉さんの作品「くす玉」

フロアチーフ 高橋 葉子

パン工房「もくもくてん」に飾られている作品に目を止めて頂き、地域の方より同じ物をとの事で作成（くす玉）依頼がありました。

ご本人に伝えた所、快く引き受けてくれました。手先が器用で、余暇時間に、折り紙の本を見ながら、作品にチャレンジしています。ピースも好きで、同じフロアの人に作ってあげてもいます。

季節に合わせた作品等は、フロアや掲示板に飾っています。

本人の一番の楽しみは、学園に来る実習生へのプレゼントや、一緒に作品作りをする事です。コロナの影響で、プレゼントする相手が減ってしまい、作品を頼まれた事で、張り合いが出来、「何個作るの、もっと作れるよ」と言って、楽しんで取り組んでいました。

早くコロナが終息し、実習生が沢山来て、プレゼントを沢山山積したいと願っていると思います。

また、もくもくてんに来た際は、利用者の作品を手に取り、ご覧になって下さい。



※小さいもので一個が3cm程の作品です

「ありがとう」

株式会社正栄デリシイ様

株式会社正栄デリシイ様よりチョコレートのお菓子の寄贈をいただきました。

正栄デリシイ様には昨年一昨年と寄贈をいただいております、今回も利用者の皆様や職員もおいしくいただきました。このようなあたたかいご厚意に施設職員一同、心より感謝申し上げます。誠にありがとうございます。



つるかわ学園を 支える会のご案内

「支える会」について

国家的財政困難と世情不安定の中にあつて、施設も苦しい状況に置かれています。私達は私達なりに苦しさの中にあつても福祉を支える者として努力を惜しまず頑張っています。今一步の力の支えをこうした形で求めるのは本当に心苦しいのですが、市民の皆様の小さな善意はやがて大きな力を生む礎となる事をお約束します。

どうか「つるかわ学園」を支える会にご入会し力を添えてくださいますようお願い申し上げます。

会費

「つるかわ学園を支える会」の会費は、一口年額三千円ですが、ひとり何口か入っていただくことを歓迎、お願いしております。

会員の方々には、毎年三回発行するつるかわ学園の機関誌「つるかわ」をお送りし、学園の様子を続けてご報告するとともに、この人達の幸せを願う者同志としての親交を深めます。

入会方法

入会してくださる方は、振込用紙を学園にご請求下さい。

振替口座番号

〇〇一〇一七七一九四〇二九 加入者

社会福祉法人 つるかわ学園

つるかわ学園 ホームページ

日常のようす、行事のお知らせ等がご覧になれます

アドレスはこちら!! HP: tsurukawa-gakuen.com

